
「頭頸部領域を中心とした原発不明癌の臨床病理学的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター 臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2025年6月1日の期間に埼玉医科大学国際医療センターにて病変をとり、原発不明癌と判定された患者さんを対象にしています。

2. 研究の目的

頭頸部領域を中心とした原発不明癌の病理学的形態の検討やマーカーの検索を行うことで、原発巣推定の手がかりや予後予測といった治療に直結する特徴を明らかにすることが目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究開始許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

診療録から次の情報を調査します。

- ・背景因子（年齢、性別、家族歴など）
- ・臨床データ（画像検査結果、病理検査結果など）
- ・転帰（再発の有無など）

集めた病理標本に特殊な染色を行い特定の分子の発現を調べたり、標本から DNA などを取り出したりして遺伝子の異常などを調べます。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センター病理診断科において、研究責任者である森松歩が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、

患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

原発不明扁平上皮癌と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 森松歩 （研究責任者）
埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 美山優
埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科 中平光彦
埼玉医科大学国際医療センター ゲノム医療科 平崎正孝
埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 本間琢
埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 大森悠加

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 森松歩
住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：頭頸部領域を中心とした原発不明癌の臨床病理学的検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 森松歩